

# TGW 東亜精機工業株式会社 治具技術ニュース



総務 文山

編集長より 皆さんこんにちは。「治具技術ニュース」の編集を担当している文山です。今月も機械加工の自動化やコストダウンになるような情報をお伝えしていきたいと思います。9月に入り朝晩の風が気持ちよい季節になってきましたね。さて、9月30日は中秋の名月です。名月鑑賞は中国から伝わったものですが、日本では奈良時代に農民たちが秋の収穫物を供え五穀豊穣を感謝したのが始まりと言われています。ところで、お月見は満月・お団子・ススキがつきものですが、お供えは秋の収穫物なら何でもよいそうで、さらにお月様も満月でないといけないこともありますね…

でもやっぱりお月見は『お団子』ですよね♪ それでは今月もお伝えして参ります！ 編集長 文山



やっぱり満月には  
お団子が似合います



## サブゼロ処理・テンパー処理による高品質治具！

工作機械用の治具を専門に手がける東亜精機工業では、製品の品質に絶対の自信をもっております。一度納品すると高い精度を長期間に渡り必要とする治具に耐久性と高品質は欠かせない要素となっているからです。例えば治具に使用するピンひとつを取ってみても、東亜精機工業では経年変化を防止するために「サブゼロ処理」の実施や、加工品の残留応力を取り除くために「テンパー処理」を実施しています。治具の製作に工数がかかることとなっても、これらの処理を製作段階から実施することで長期間に渡って、高い精度を保つ高品質の治具をご提供することができます。この技術は高い精度が求められるゲージを製造していた東亜精機工業の創業時からの伝統となっています。お客様の高精度ワークの加工を支える高品質治具は当社へ是非お任せ下さい。

### 「サブゼロ処理」とは

加工品の硬度を出すためや、形状の経年変化を防ぐことを目的として、焼き戻し(150°C以上の温度で熱処理)を実施します。「サブゼロ処理」とは、焼き入れ後に加工品をマイナス72°C以下に冷却することをいいます。焼き入れ後にサブゼロ処理をすることで、より経年変化を防止することができます、高精度・高品質を要求される治具に必要不可欠な処理になります。元々は高精度を必要とするゲージ製作に採用されている処理方法です。

### 「テンパー処理」とは

「テンパー処理」とは、低温での焼き戻し処理をいいます。テンパー処理の目的は、冷間で熱処理をすることで加工部分にある残留応力を取り除くことです。残留応力があると経年とともに変形の発生の要因となり、品質低下につながります。冷間で熱処理すると、熱処理による加工硬化をおこしている材料自体の機械的性質の改善をする事ができます。低温の焼き戻しをすることによって、加工品の弾性限と耐力の向上を実現できるのです。



マイナス72度以下で  
冷却するサブゼロ処理



低温焼き戻しにより残存応  
力を取り除くテンパー処理

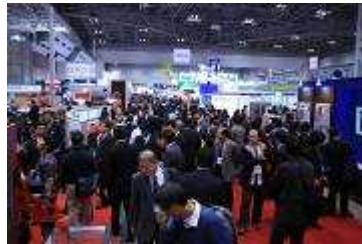


サブゼロ処理とテンパー処理  
を施したピン



## 東亜精機工業がJIMTOF2012に出展！

11月1日(木)～11月6日(火)まで、東京ビッグサイトで開催されるアジア最大級の工作機械見本市「JIMTOF2012」に東亜精機工業が出展することとなりました。前回の2010年に開催されたJIMTOF2010では来場者が全世界から13.7万人にも及びました。今年開催されるJIMTOF2012の出展企業は前回(573社)よりもさらに増え、582社の企業がブースを構える予定です。東亜精機工業では、業界の最先端技術による、少量多品種対応や省人化を実現する治具を展示しております。当日は専門スタッフも配置しておりますので、是非、当社ブースへご来場下さい。



2年に一度開催され、来場者が13万人  
にも上るアジア最大の工作機械見本市



世界中から600社近くの工作機械・工作機械周辺機器メーカーが最新鋭の商品を出展

## TGW 東亜精機工業の社員紹介！！



営業部 上田 崇

いつもお世話になっております。営業部の上田と申します。私は東亜精機工業にて、設計・製造した治具を客様の製造現場へ配送しております。ミクロン精度を要する治具の取扱いには非常に神経を使いますが、高付加価値商品をご提供できることを誇りに日々仕事にあたっています。

工作機械治具の専門サイト



工作機械治具

検索



## 治具とバイクをこよなく愛する ライダー社長の日本周遊記



皆様、いつもありがとうございます。東亜精機工業の社長の十時です。

川魚として日本初のブランド魚に認定され、その味と香により皇室への献上されたことがある「郡上鮎」を目指し、自然豊かな岐阜県郡上市にバイクを走らせてきました。長良川には群上鮎を取るためのヤナ場が仕掛けられており、目的地に着くまでも食欲がそそられます。そして、群上鮎のご飯処へ。「香魚」と称される天然鮎は香りも味もまさに絶品でした。由緒正しき食を終え、次の目的地に向かうでした。



香魚とも称される群上鮎の塩焼き



日本を代表する清流の長良川

「治具技術ニュース」は東亜精機工業㈱の弊社とお取引のある会社や弊社営業担当と過去に担当者様・名刺交換された方へ郵送・送信しています。

不用の方はお手数ですが下記にご記入の上、【FAX】06-6976-6960までご返信下さい。ご迷惑おかけして申し訳ありません。

理由： □不用 □本人不在 □その他( ) FAX番号( )